

やまぐちっ子板書型指導案事例集

～引き出したかった振り返りを設定した授業改善～

本資料は、授業における「引き出したかった『振り返り』」と子どものつまずきに対する支援を明確にした板書型指導案の例を紹介しています。本資料を参考にしながら授業改善を進め、全ての子どもに求められる資質・能力が確実に育まれることを期待しています。

子どもたちの学びを支援する
山口県教育庁義務教育課
令和4年9月

主眼 ダイズを取り入れる時期や育て方の工夫が、五つある工夫の最後に述べられていることの是非について対話することを通して、段落の順序に込めた筆者の意図を捉え、スーパーマーケットの工夫の説明に生かすことができる。

引き出したい振り返り
「これらのほかに」という言葉から、筆者の国分さんが枝豆もやしの事例を最後におまけで述べているように感じました。こんな工夫まであってすごいということ最後に述べて、「昔の人々のちえにおどろかされます」という主張を強く伝えているのだと思います。わたしも、スーパーの店外の工夫を最後に説明して、店員さんがお客さんのためにしている工夫のすごさを伝えたいです。

【まとめ】
国分さんは、伝えたいことに合わせて説明の順序を工夫している。

【振り返り】
国分さんは、昔の人々の知恵のすごさにびっくりしてもらおうと思って、枝豆ともやしの事例を最後に述べているのではないかと。自分も、みんなが想像していないようなスーパーマーケットの工夫を最後に述べて、工夫のすごさを伝えたい。

最後に述べられているのはよいか？

Aはん よい

大豆 理由
これらのほかに 大豆とダイズはちがうものだから

ダイズ 理由
Bはん よくない

とりの入れる時期や育て方 他の工夫に比べて、手間がかかっていないから

ダイズ 理由
国分さん 最後に、「昔の人々のちえにおどろかされます。」

すがたをかえる大豆

国分 牧衛

それぞれの食品が姿を変える過程を示した絵カード

- 最初は、すがたをかえるのに手間がかからないものが説明されている。
- だんだん手間がかかるものになっていく。
- 枝豆ともやしは、手間がかからないのに最後に説明されている。

振り返り
解決
学習のきっかけ

<p>○読み深めた筆者の意図やスーパーマーケットの説明の順序について振り返らせる。</p> <p>T 国分さんは、段落の順序をどのように工夫していると思ったか。また、スーパーマーケットの工夫を、どのような順序で説明したいか。</p> <p>◆ スーパーマーケットの説明について自分の考えがもてない子どもには、段落の順序とその意図とを交流させることで、伝えたいことに合う順序になっているかを吟味できるようにする。</p> <p>・伝えたいことと、段落の順序とのつながり</p>	<p>○枝豆ともやしの工夫を最後に述べている筆者の意図について話し合う場を設定する。</p> <p>T 筆者の国分さんが伝えたかったことは何か。</p> <p>④ 枝豆ともやしもダイズであることを知ったときの感想を交流させることで、筆者が段落の順序を工夫した意図を吟味するきっかけとなるようにする。</p> <p>・昔の人々の知恵に対する筆者の意見</p> <p>・段落の順序に込めた筆者の意図</p>	<p>T 枝豆ともやしの工夫が、最後に述べられているのはよいか。</p> <p>④ 初めに、是か非かという二つの主張ごとに班を組み、根拠となる言葉や文を基に理由付けについて話し合わせる。そうすることで、主張の確かさを探った上で、違う主張の人と対話ができるようにする。</p> <p>◆ 理由付けが難しい子どもには、まず是か非かを明確にして話し合いに参加することができるようにする。</p> <p>・自分の主張を支える根拠と理由付け</p>	<p>○大豆が姿を変える過程を比べ、段落の順序についての気づきを交流させる。</p> <p>T どのような順序で、説明されているか。</p> <p>④ 絵カードを用いて、姿を変える過程を黒板上で整理させることで、食品ごとの違いに気付くことができるようにする。</p> <p>・姿を変える過程の違い</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">(◎手立て ◆つまずきに対する支援 ・学習内容)</p>
---	---	---	---

評価 筆者の工夫を参考にして、伝えたいことに合わせて説明の順序を工夫することができるか、活動の様子やワークシートの記述からみとる。

☆説明文の授業は、説明されている内容だけでなく、説明の仕方を捉える授業に！

単元 3人の武将
主眼 3人の武将の政策等を比較しながら、徳川家康が江戸幕府を開くことができた理由を、自分なりに説明することができる。

評価とその方法

授業中の発表と振り返りから、3人の武将の情報を総合して自分なりの根拠を創り出しているかどうかを見取る。

(引き出したい) 振り返り

私(家康)が天下統一できたのは、必要な政策を行ったからではあるが、それまでの信長や秀吉の様子を見てきたおかげで、それよりもよい政策を行うことができたということもあるのだよ。

【主体的・対話的で深い学びを実現するICT活用のポイント】

3人の武将の中で一番人気のある武将は誰かが明確になるように、タブレットと大型モニターで示した上で、なぜ家康が天下統一できたのかを考えさせるようにすることで、事実を基に歴史上の出来事を判断することができるようにする。

○/○ **め** 3人の武将のすごさを説明しよう

3人の武将の中で、一番すごいのは誰？

信長がすごい

- ・楽市・楽座はそれまでになかった考え
- ・初めて鉄ぼうを使って戦上手
- ・派手好き

秀吉がすごい

- ・検地と刀狩りは国を治めるためによく考えられた政策
- ・苦勞して太政大臣になった

織田信長	豊臣秀吉	徳川家康
------	------	------

1534年 尾張(愛知県)の生まれ	1537年 尾張(愛知県)の生まれ	1543年 三河(愛知県)の生まれ
安土城	大阪城	江戸城
楽市・楽座 キリスト教を保護	検地 刀狩り 朝鮮出兵	全国の大名を親藩、譜代、外様に分けて配置
桶狭間の戦い 長篠の戦い	明智光秀をたおす	関ヶ原の戦い 大坂夏の陣

家康がすごい

- ・関ヶ原の戦いで勝ち、その後は、近くに味方、遠くに敵を配置した
- ・天下統一

・それぞれが天下統一をめざした政策を行っている。
 ・家康は、二人の様子を見て、よりよい政策を行うことができた。

学習のきっかけ (10分)

解決 (15分)

共有 (15分)

振り返り (5分)

○前時までに各自が調べた武将の政策や特徴等を発表させ、板書上の表にまとめる。

「3人の武将の中で一番すごいのは誰か」
 ○各自で選び、その理由を書かせた後、選んだ人物と理由を班で共有させる。

「家康が天下統一できたのはなぜか」
 ○3人のうちで、結局家康が天下統一できたのはなぜかを、全体で話し合わせる。

○ここから江戸幕府が250年続くという事実を基にして、家康になりきって、天下統一できた理由を書かせる。

◆前時までに調べたい人物を児童に選ばせ、作った城、行った政策、戦、気になったこと等の項目について調べさせておくようにする。

◆タブレット端末を用いて、人物を選び、理由を書かせ、モニターで分類して示す。
 ◆自分なりの根拠を板書の言葉を使って書かせるようにする。

◆家康以外の人物が天下統一できなかったのはなぜか、という理由についても取り上げるようにする。
 ◆事実を基に根拠を示させるようにする。

◆1枚のシートに振り返りを書き溜めるようにすることで、学びに対する自分の考えの変容を、単元を通して確認できるようにする。

☆歴史の流れと各事象の特徴を基にして、複数の事象を比較したり、関連付けたりしながら考えをまとめていくことが大切です。

☆データの活用では、データを分類整理して表やグラフ表し、データの特徴を捉え考察したり、見出したことを表現したりできるようにすることが大切です。

第3学年 算数科板書型学習指導案 【単元名】「表とグラフ」【時数】1/9 【教科書 ページ】p.74・75

日時：○月○日(○)○校時
場所：○市立○小学校
○年○組教室
指導者： ○○ ○○

1. ねらい 数を「正」の字で表し、簡単な表に整理することができる。

○/○ 「表とグラフ」

② 2組の好きな遊びを1組に分かりやすく整理して伝えよう。

○2組の好きな外遊びアンケート

ランダムに提示

「正」の字を使って整理しよう

ボール遊び	正 下
おにごっこ	正 正 下
一輪車	正
なわとび	正
ブランコ	下

「正」の字を数字にかきなおして整理しよう

好きな遊び調べ(2組)	
しゅるい	人数(人)
ボール遊び	8
おにごっこ	12
一輪車	6
なわとび	4
ブランコ	2
合計	32

・多くの人が好きな遊びはおにごっこ
・おにごっこはブランコの6倍の人数

③

「正」の字を使って表に整理すると分かりやすくなる

④ (引き出した振り返り)

・はじめは整理の仕方が分からなかったけど、○○さんの「正」の字を使う方法を聞いて表にまとめると、分かりやすく伝えられることに気がつきました。
・わたしは、よく数え間違いをするので、他のアンケートでも「正」の字を使って分かりやすく表にまとめようと思います。

3. 指導上の留意点

- 1組に伝えるため、分かりやすく整理しなければならないという目的意識をもたせる。
 - ・アンケートの必要性に気づかせる。
- 2 外遊びの内容にこだわらずカードをランダムに提示する。
- 3 「正」の字を使って人数を調べることで、「正」の字の有用性に気づかせる。
 - ◆いくつかのカードについて、「正」の字を使ったカウント作業を一緒にする。
 - ・データの正確性を意識させ、整理した表をペアで確認させる。
- 4 数字に書き直すことで、種類ごとの人数が分かりやすくなることに気づかせる。
 - ◆「正」の字の画数と数値が一致するように数えさせる。
- 5 表から分かることを問うことで、幅広く読み取りができるようにする。
- 6 本時の学習内容を児童と確認しながらまとめる。
- 7 話型を示すことで、本時の振り返りを書く際の支援とする。
 - ◆分かったこと、参考になった友達の考え、生活で使える場面等、児童に問いかけることで振り返りの視点をもたせる。

《準備物》

- ・電子黒板、パソコン
- ・アンケートのカード
- ・提示用の表
- ・ワークシート(ノートのコピー)

2. 学習の流れ

- 1 p74のイラストを利用して、2組が好きな外遊びについて話している場面から、1組に伝えようという課題をつかむ。
- 2 カードに自分が好きな外遊びを書き、黒板に提示する。
【発問】 どうすれば好きな遊びを分かりやすく整理できるでしょう。
- 3 「正」の字を使って表に整理する。

- 4 「正」の字を数字に書き直し、表を整理する。
- 5 表から分かることを読み取る。
【発問】 表から何がわかりますか。
- 6 本時のまとめをする。
- 7 振り返りをする。

4. 評価

・数を「正」の字で表し、簡単な表に整理することができたか。〈ノート〉

「やり取りを楽しむ工夫」について捉えさせる場合、非言語だけににならないように、使用する英語の工夫についても探らせましょう。そのために、複数のパターンに出合わせておくことが大切です。

第5学年板書型指導案（外国語）

令和4年〇月〇日（〇） 授業者 〇〇 〇〇

(2)板書

1 単元名

Unit3 What do you have on Monday? (第5学年)

2 単元の目標

- “What subject do you like? (I like —.)” や “What do you have on —?(I have — on —.)” などの表現について理解し、学校生活での好きな教科や曜日ごとの時間割について尋ね合う技能を身に付けている。 (知識・技能)
- 自分の考えを伝えるために、オリジナル教科を含む時間割について、簡単な語句や基本的な表現を用いて尋ね合っている。 (思考力・判断力・表現力)
- 自分の考えを伝えるために、オリジナル教科を含む時間割について簡単な語句や基本的な表現を用いて尋ね合おうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)

3 指導上の留意点

- 「small talk」を行う際、共通の話題についてやり取りをすることができるように、ロイロノートの画面配信機能を用いる。また、やり取りは“Yes/ No”で答えられるものから“What”を使った質問へと徐々に難易度を上げるようにする。
- 誰が見つけた時間割かを当て合う「激レアさんを探せ」を行う際に、相手の言葉に反応することのよさに気付かせるために、それまでの言語活動の中で反応の方法に出合わせておく。

4 指導計画（全8時間）

- 第一次 学習の見通しをもち教科を表す語句に出合う…1時間
- 第二次 好きな教科や日課について尋ね合う…4時間
- 第三次 オリジナルの時間割を伝え合う…3時間

5 本時案（第二次4時）

(1)主眼

好きな教科や時間割について尋ね合う活動を通して、コミュニケーションを楽しむ工夫を捉えて英語を使用することができる。

Day, Date

㊦ やり取りを楽しむ工夫を取り入れて、時間割を尋ね合おう

< 「small talk」で気付いたこと > < 「三目並べ」で気付いたこと >

Do you like —?

Yes, I do./ No, I don't.

→ “Do you like” は言いやすい

→ 総合,書写,家庭科は言いにくい

What do you have on 曜日?

I have on 曜日.

→ “What do you” は言いやすい

→ “— have on 曜日” 言いにくい



- ・相手の言葉を繰り返すと確認ができる
- やり取りが楽しくなった

<引き出したい振り返り>

相手の言葉を繰り返したり、質問したりと、反応を心掛けた。反応すると楽しくなったし、相手に反応してもらえると、嬉しかった。他の反応の言葉を知って、みんなで楽しくやり取りをしたい。

“What do you have on 曜日?” を忘れずに言うようにした。時間割について英語で話ができるようになっていて嬉しい。

(3)本時の流れ <主な支援（〇）と評価（☆）>

- ① フラッシュカードを行い、それらを使ってペアで好きな教科について話す「small talk」を行う場を設定する。(10分)
- T 言いづらい語句や表現は何か
- 指導者が自己開示しながらモデルを示し、やり取りの見通しをもつことができるようにする。

やり取りを楽しむ工夫を取り入れて、時間割を尋ね合おう

- ② 反応しながら英語を使ってやり取りを行う経験を積ませるために、日課表の中から好きなものを選び、縦・横・斜めに三つそろすと

- ポイントになる「三目並べ」を行う場を設定する。(10分)
- T どのようにすれば、スムーズにやり取りが行えるか
- 英語でのやり取りが難しい場合、できていることを価値付け、単語レベルでのやり取りに親しませるようにする。
- ③ 自他の意見の共通点を探らせるために、互いの作成した時間割について伝え合う場を設定する。(15分)
- T 活動の際に工夫したことは何か
- ②の様子から、英語でのやり取りに苦手意識をもっていると見取った子どもに積極的に関わり、単語レ

- ベルから、徐々に“I have —.”を使ったやり取りに難易度を上げるようにする。
- ④ 自己の変容を捉えることができるように、リスニング問題に挑戦し、学習を振り返る場を設定する。(10分)
- T できるようになったことは何か
- 自己の変容への気付きを促すために、リスニング問題に挑戦させる。その際、ロイロノートを活用して効率的に情報を共有し、価値付けを行ったり今後の学習について方向付けたりする。(☆)

単元 ハードル走
主眼 自己の能力に適した歩数やインターバルを見付けられることができる。
評価
 ・体のバランスをとりながら走りきることができたか。
 ・課題に応じた練習の場や方法を選ぶことができたか。
引き出したい振り返り
 インターバル5mでは同じ脚でリズムカルに走りきることができたので、次は6mでもできるように踏切位置を意識した練習をしたいな。

○／○ エンジョイ！ハードル走
めあて 自分に合った歩数やインターバルを見付けよう

□学習の流れ

①アップ
 ②試走タイム1
自分に合った練習を見付ける

③交流タイム(タブレット)
気付きを共有する

④試走タイム2(何を意識する?)

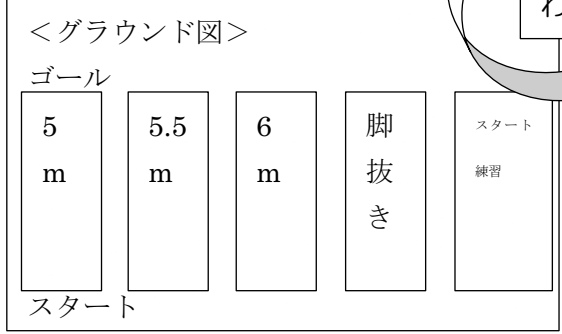
⑤ふりかえり
できるようになったこと(なぜ?)
うまうまかなかったこと(次は?)

【コツ】 ※前時より
 ・上体をねかし、またぐ感じ
 ・遠くからとんで近くに着地

踏切あし
 同じ(奇数歩)?
 交ご(偶数歩)?

●ハードル走の楽しさは・・・?
 ・リズムカルに走りこえる
 ・記ろくがのびる
 ・そうかい感、気持ちいい
 ・こけるとこわい
 ・当たるといたい

わたしは、0mで0歩!



【ふりかえり】
コツを生かしたら、同じ脚で踏み切ることができた。5mではリズムカルにできたけれど**6mでもできるよ**うになりたい。脚だけではなく、**うでの使い**方も大事。**インターバルが長い方**が気持ちよく走ることができる。

学習のきっかけ (00:00~5分)

解決 (0:00~25分)

共有 (00:00~10分)

振り返り (00:00~5分)

○前時の振り返りから同じ脚(若しくは交互)でリズムカルに走り越えられると楽しいことを共有する。
 ○リズムカルに走り越えるためのコツ(概略)を確認する。

○課題解決の見通しがもてるよう、目的や場等を確認する。
 (発)「**その場でリズムカルに走り越えるために、どのようなことに気を付けたらよいかな?**」
 ○気付いたことをタブレットにメモしたり試走を撮影したりできる場を設ける。

○撮影した手本の児童の姿を視聴し、リズムカルに走り越えるイメージを膨らませる。
 (発)「**自分と違うところはどこだろう?**」
 ○タブレットを用いて気付きを共有し、まとめの試走をする。

○課題解決に有効だった場や方法、本時でできるようになったことを振り返る。
 ○うまうまかなかったことについても振り返ることで、次時の課題につなげる。

[つまずきに対する支援]
 ◆自分なりのリズムカルに走り越える楽しさを追求するよう促す。

◆個の課題に応じて、練習の場や方法を適宜修正・改良したり、具体的な助言をしたりする。(例 ハードル→ゴム)

◆記録が伸びずに悩んでいる子どもには、取組の姿勢や走り越えるフォームからよさを見取り、価値付ける。

◆子どもの振り返りに対し、共感できるかどうか挙手で意思表示させ、その理由を問う。

☆問題発見・解決のプロセスを重視し、確認・適応問題で身に付いたか確認しましょう。

単元 式の計算

主眼 2ケタの整数の差のきまりについて、文字を使って確かめることができる。

評価

- ・具体的な数での解決を基に立式することができたか。
- ・問題の条件に着目して、問題を発展し解決することができたか。

引き出したい振り返り

- ・具体数をきっかけにすれば式変形ができることがわかりました。
- ・文字の設定が難しかったですが、具体数が参考になりました。しっかり練習してできるようになりたい。

① 2ケタの自然数を1つ決めます。

② ①の十の位と一の位を入れかえた2ケタの自然数をつくります。

③ ①から②をひきます。

(めあて) ①から②をひいた差はいつでも9の倍数になるか文字式を使って確かめよう。

【説明】十の位の数字を a, 一の位の数字を b とすると, ①の自然数は $10a+b$, ②の自然数は $10b+a$ とあらわされる。(a,b は自然数)

【解決するためのコツは?】

- ・具体的な数を式変形のヒントにする
- ・2ケタの自然数を文字であらわす。
- ・式を使って, 成り立つ根拠を説明する。

③の結果にはどんなきまりがあるかな?



①から②をひいた差は,
 $(10a+b) - (10b+a)$

$41 - 14 = 27 = 9 \times 3$

$97 - 79 = 18 = 9 \times 2$

$15 - 51 = -36 = 9 \times (-4)$

$= 10a+b-10b-a$

$= 9a-9b$

$= 9 \times (a-b)$

(予想)

$(a-b)$ は整数なので, $9 \times (a-b)$ は9の倍数を表している。よって, ①から②をひいた差は9の倍数になるといえる。

①から②をひいた差は, いつでも9の倍数になりそうだ。

文字式を使えばよさそうだ

【条件を変えると...】

- ・①に②をたした場合, 和にはきまりがあるかな。
- ・2ケタの自然数を3ケタや4ケタに変えた場合, どうなるかな。

学習のきっかけ (端緒)

解決

共有

振り返り

<ul style="list-style-type: none"> ○具体的な数を用いて、生徒の予想を引き出す。 ○$9 \times \square$の形を板書しておく。「9の倍数はどこからわかったの?」 ○めあて(や問題)を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「どうすれば数の性質を確かめられるだろうか」と発問する。(2ケタの自然数の文字表現を確認) ○全体で立式まで行う。 ○個人で考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ペアで説明する場面を設定する。 ○全体では、生徒にすべて書かせず、<u>$9a-9b$のところ</u>で立ち止まり、「この式をどのように変形すればよいか」を問う。 ○考えをクラウドで共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題解決に有効だった方法を振り返る。 ○この問題を発展する視点を引き出しておく。 ○和の場合に焦点をあて、確認問題として扱う。
<p>[つまづきに対する支援]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆具体数で、9の倍数であることを確かめておく。例 $27 = 9 \times 3$ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆文字で表すことができない生徒(正答率50%未満)のために具体数で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆具体的な数に立ち返らせ、どうすることで9の倍数といえたかを振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ここでは和について扱い、拡大モニタを使って生徒がノートに書いた説明で解説する。

単元 運動とエネルギー

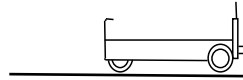
主眼 物体に力が働かない運動についての観察、実験をとおして、運動の様子を記録する方法を習得するとともに、物体に働く力と物体の運動の様子について規則性を見いだすことができる。

引き出したい振り返り

6打点ごとに切った記録テープを並べたものと、作成したグラフが同じ形になったのに驚きました。2つのグラフの形は違うけれど、同じ運動を表していることが理解できて、うれしかったです。

台車に力が働いていないとき、台車はどのような運動をするだろうか。

記録テープや動画から
どんなことが分かるか

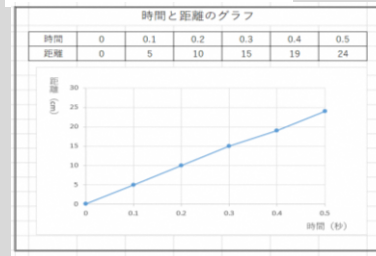


等間隔の記録

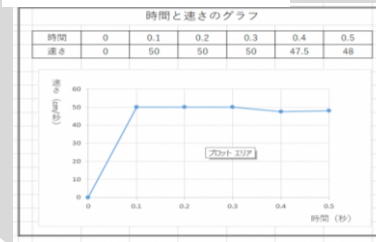
等間隔ではない記録

等間隔でないのはなぜだろう

時間と距離のグラフ



時間と速さのグラフ



グラフの形からどんなことがわかるだろう。

- この物体は同じ速さで運動をしている。(1班)
- グラフの形は違うけど、2つとも同じ運動を表している。
- 2班の物体は、あるところから間隔が短くなっているため、減速している。

↓何が原因？

- 何が物体にあたった
- 床の摩擦の変化
- 記録テープの摩擦の関係
- 別の力が働いたのではないかと

- まとめ
- 力が働かないときは等速直線運動
 - 力が働いたときは運動の様子が変わる

【主体的・対話的で深い学びを実現するICT活用のポイント】

実験結果をグラフ化して規則性を見いだす場面では、数値を入力するとグラフが作成できるシートを準備し、考察する時間を十分に確保する。

協働学習では、考察を入力するシートを共有し、自分の考えを記入するとともに、班員の考えを共有するように促す。



学習のきっかけ

解決

共有

振り返り

- 処理した記録テープから、運動の様子を予想させる。
- 台車にどのような力が働いているか考える場面を設定する。

- ◆記録テープを6打点ごとに切った意図を確認し、速さの定義を板書する。

- 6打点ごとに進んだ距離を表に入力し、グラフの作成するよう指示する。
- グラフの形からどのような運動をしているかを問う。

- ◆個人で考えを書くことが難しい時は、クラウドに入力された友達の考えを参考に伝える。

- 考察を入力したシートを見ながら、吟味する場面を設定する。

- ◆個人で考えたことを、班内で順番に発表した後に話し合うよう指示する。

- グラフの形から考えた運動の様子を、全体で吟味する。
- 次時に、斜面の角度の違いで物体に働く力がどうなるか考えることを伝える。

- ◆他の班と形が違うグラフについて、「なぜそうなったのか」実験の場面を想起させる。

☆言語の正確さは、長期的に繰り返し指導して身に付けられるようにすることが大事なので、その単元だけにとどめることがないようにしましょう。

中学校英語 1年生 対話文における**技能統合型**の指導例 【話すこと [やり取り] +書くこと】

【課題と見られる問題】

R4 4月確認問題 8(1)

文脈に合うように内容を考えて、基本的な文法事項を活用して英文を書くこと。

(1) 【場面】健太 (Kenta) は生徒会通信にALTのベル先生 (Ms. Bell) についての記事を書くことになり、ベル先生にインタビューしています。

Kenta: How's your life in Japan?

Ms. Bell: It's exciting! *Everything is new to me.

Kenta: I see. () after dinner?

Ms. Bell: I watch TV. I like watching soccer games on TV.

Kenta: Me, too. (注) everything: すべてのこと

正答率 21.2%

【身に付けさせたい力】

主眼 英作文したペアでの会話内容を吟味する活動を通して、文脈を考えながら英文を書くことができる。

評価 好きな人物についてのやり取りについて、相手がどれくらいその人物が好きかを引き出すためのより良い文脈を考えながら対話文を書いているか。(思考・判断・表現)

(可能な観点別評価)

- 好きな人物についてのやり取りについての質疑応答を書くことができたか。(知識・技能)
- 思考・判断・表現の文末を「書こうとしているか」に変換。(主体的に学習に取り組む態度)

振り返り

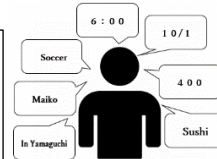
今まで習った who や what などの疑問文を使って(言語面)、相手が話した内容を詳しく知るための質問をすると、相手がどれくらい好きなのか分かってきた(内容面)。

Day, Date Today's goal

好きな人物について話した内容を英語で書くことができる。

【To do list】

- Greeting
- Small talk (Quiz)
- Activity①
- Share ideas in class①
- Activity②
- Writing
- Share ideas in class②
- Reflection



Answers

- Ten.
- I have ten pens.
- I play tennis.

- When is his birthday?
 - How many books does he have?
 - What food does he like?
 - Where does he live?
- (Quiz で出た質問を板書する)

Questions

- How many CDs do you have?
- What's your favorite number?
- What time do you go to bed?
- How many pens do you have?
- What do you do after school?

○好き具合を引き出す質問等

Who is your favorite, A or B?
I listen to his music.
When do you listen to?
Every day. Before dinner, after dinner, before I go to bed.
(文脈の中での質問であることを確認しながら板書する)

【Reflection】

話の流れに沿っていろいろな質問をすると好き具合が分かる。

本時の流れ

1 Greeting

2 Small Talk(○ : ○ ~ 5分)

○好きな人物について生徒とやり取りする。

【参考】国研「全学調の結果を踏まえた授業アイディア例」 p.21 (R1.9月配布)

◆7つの答えを提示し、どんな質問(既習)をすればその答えが導き出せるか確認し、板書する。

3 Activity①(○ : ○ ~ 5分)

○答えを先に伝え、それに対する質問を考えるペア活動を行うよう指示する。

(4 Share ideas in class①後に相手を代えてもう一度。)

4 Share ideas①(○ : ○ ~ 5分)

◆単語だけでも答えになりうることをまず示し、全員が参加できるようにする。

○文による答えで問答しているペアを机間指導で把握し、発表を促す。答えが単語であれば様々な質問が考えられるが、文による答えであれば文脈や質問が絞られることを共有する。

5 Activity②(○ : ○ ~ 10分)

○好きな人物についてペアで会話するように指示する。

「パートナーがどれだけその人物について好きかを引き出そう」

6 Writing(○ : ○ ~ 5分)

○5 Activity②で行ったやり取りを英語で書くように指示する。

7 Share ideas②(○ : ○ ~ 5分)

○グループで英文を確認し、相手の好き具合を引き出している質問等を話し合い、全体で共有する。(一問一答ではなく、文脈の中での質問であることを共有する。)

8 Reflection(○ : ○ ~ 10分)

○6 Writing で書いた英文に文脈に沿った質問等を書き加えるように指示する。

○振り返りのポイント(言語面・内容面)を示す。

○確認問題(4月確認問題8(2))に取り組むように指示する。